

■ 2022年度 ■

高校入試資料

秋季
面談

 マインズ
MAINS

2022年度

高校入試資料集/目次

■埼玉県公立高校入試について

□公立高校入試変革	1
□公立高校の入試制度	2
□公立高校入試変更点	14

■首都圏私立高校入試について

□私立高校入試概況	15
□私立高校の入試制度	15
□私立高校の主な入試変更点	20
□私立高校入試日程	21
□私立高校授業料減免制度	24

選抜基準公表の例

この形式に沿って各学校の基準が決めますので、希望する学校の選抜基準には必ず目を通しましょう。

全日制 県立〇〇高等学校(普通科)

令和4年度入学者選抜

基本方針	<p>(1) 学力検査と調査書の記録については、学力検査を重視して選抜する。</p> <p>(2) 調査書の「特別活動の記録」、特に部活動・生徒会活動に積極的に取り組んだ者の選抜に配慮する。</p> <p>(3) 面接を実施し、受検生の意欲・態度・適性を積極的に評価する。</p>								
選抜資料	<p>○学力検査の扱い 1年:2年:3年 各学校で定めます [500点]</p> <p>○調査書の扱い 学習の記録の得点 (1 : 1 : 2) (180点)</p> <p>特別活動等の記録の得点 (50 点)</p> <p>その他の項目の得点 (10 点) } [240点]</p> <p>○その他の資料 面接 [30 点]</p>								
	<p>傾斜配点を実施する場合は、この部分に該当教科を記載しています。</p>								
一般募集	<p>●第1次選抜 (60 % を入学許可候補者とする)</p> <p>(各資料の配点) 調査書の合計点に、各学校が定めた係数を乗じて②と⑥の換算点を算出します。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>①学力検査</td> <td>②調査書</td> <td>③面接</td> <td>④合計</td> </tr> <tr> <td>500点</td> <td>336点</td> <td>30点</td> <td>866点</td> </tr> </table>	①学力検査	②調査書	③面接	④合計	500点	336点	30点	866点
	①学力検査	②調査書	③面接	④合計					
	500点	336点	30点	866点					
<p>●第2次選抜 (30 % を入学許可候補者とする)</p> <p>(各資料の配点) 面接等を実施しない場合は「その他」欄に「実施しない」と記載。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>⑤学力検査</td> <td>⑥調査書</td> <td>⑦面接</td> <td>⑧合計</td> </tr> <tr> <td>500点</td> <td>216点</td> <td>30点</td> <td>746点</td> </tr> </table>	⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計	500点	216点	30点	746点	
⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計						
500点	216点	30点	746点						
<p>●第3次選抜 (10 % を入学許可候補者とする)</p> <p>この記述がない場合のみ、残った全受験生が対象となります。</p> <p>第 <input type="checkbox"/> 次選抜における合計得点の一定の順位の対象に、特別活動の記録の得点で選抜する。</p>									
調査書の扱いの詳細	<p>3年生の大会等のほとんどが中止になったことを踏まえ、部活動及び部活動に準ずる活動の大会等の実績は、1・2年生の事項のみを評価する。</p> <p>【特別活動等の記録の得点 (50 点)】</p> <p>○学級活動・生徒会活動 ※例えば、以下の区分により得点を加算する。</p> <p>区分A 生徒会長、生徒会副会長、生徒会本部役員</p> <p>区分B 委員会委員長、委員会副委員長、学校行事実行委員長</p> <p>区分C 学級委員</p> <p>区分D 学級係等その他評価できるもの</p> <p>○部活動 ※例えば、以下の区分により得点を加算する。</p> <p>区分A 全国大会出場</p> <p>区分B 関東大会出場、県大会上位入賞、県選抜選手</p> <p>区分C 県大会出場、地区選抜選手、格技有段者</p> <p>区分D 都市大会入賞、部長、副部長、3年間部活動継続</p> <p>【その他の項目の得点 (10 点)】</p> <p>○選択教科の学習の記録 ※特に顕著な活動がある場合に得点を与える。</p> <p>○総合的な学習の時間の記録 ※特に顕著な活動がある場合に得点を与える。</p> <p>○資格取得等 ※以下の資格を取得している場合に得点を与える。</p> <p>英語検定・漢字検定・数学検定、TOEFL、TOEIC、珠算、硬筆・毛筆、囲碁・将棋、ワープロ検定など</p> <p>○出欠の記録 ※出席状況が特に良好な場合に得点を与える。</p> <p>○地域のクラブ活動、ボランティア活動、数学オリンピック、英語スピーチコンテスト、海外派遣、表彰経歴</p>								
その他	<p>第3次選抜において、通学距離及び通学時間を資料とする。</p> <p>地域選抜を実施しないかわりに、地域に根ざした学校づくりの趣旨をいかに通学時間・距離を資料とすることができ ます。また、外国人特別選抜などに関する記述もここに記載されます。</p>								

埼玉県公立高校入試について

1 公立高校入試変革

埼玉県公立高校入試では「高校再編」と「入試制度改革」が着実に進行し、2012年度(平成24年度)入試から入試回数が1回となりました。入試改革もいよいよ集大成といった感じですが、「受験者全員に学力検査を」という制度の確立は、入試自体が「学力重視」に向かってきたことを意味することは言うまでもありません。しかし、一方で、選抜方法の大きな変更(=相関表方式から加点方式へ)により、調査書の重要性も増えています。結果として、学力と内申のバランスが求められることになりました。日々の受験勉強が大切であることは言うまでもありませんが、公立高校の合格を勝ち取るためには、「公立入試は中学校1年生から」という認識をしっかりと持って、学校生活を送らなければなりません。

2003年度入試	調査書の「各教科の評定」が「相対評価」から「絶対評価」に移行
2004年度入試	通学区制度を廃止、「各教科の評定」に1年・2年・3年の評定を併記
2005年度入試	「推薦入試」「一般入試」を廃止し「前期募集」「後期募集」に変更 「地域推薦」の廃止と「地域選抜」の実施 各高校の「求める生徒像」公開と受験生の「自己PR書」作成 前期募集における「総合問題」の導入 後期募集における「学力検査点:調査書評定」の取り扱い上限を「7:3」に変更
2010年度入試	「求める生徒像」「自己PR書」「総合問題」「小論文」を廃止 前期募集 ■ 2月中旬に5教科学力検査(募集人員は定員の80%程度) 後期募集 ■ 3月上旬に3教科学力検査(募集人員は定員の20%程度)
2012年度入試	前期・後期制から学力検査一本化へ
2017年度入試	学力検査問題に関する変更 ■ 理科・社会の試験時間拡大(50分へ) + 英語・数学の学校選択問題導入
2019年度入試	「追検査」実施 = 急病等の欠席者を対象とした学力検査

❖ 2021年度(令和2年度)埼玉県公立高校入試総括

1回入試となって10年目、全日制全体の最終実質倍率は1.13倍、普通科は1.15倍となりました。2012年度入試以降、全体1.15倍→1.17倍→1.18倍→1.18倍→1.19倍→1.19倍→1.18倍→1.17倍→1.14倍→1.13倍、普通科1.15倍→1.19倍→1.20倍→1.20倍→1.22倍→1.21倍→1.21倍→1.20倍→1.16倍→1.15倍と推移し、不合格者数は全日制全体で5,906名→6,919名→7,082名→7,003名→7,559名→7,328名→6,748名→6,398名→5,047名→4,476名となっています。2021年度入試は、比較的落ち着いた入試であったと言えるでしょう。また、欠員補充数は2012年度入試以降、27校361名→23校240名→26校451名→29校404名→26校380名→26校506名→41校990名→40校915名→39校780名→59校1,458名と過去最多となりました。その受験状況は、484名中318名合格=1.52倍(最終欠員55名)→311名中191名合格=1.63倍(最終欠員64名)→446名中319名合格=1.40倍(最終欠員150名)→370名中284名合格=1.30倍(最終欠員123名)→323名中235名合格=1.37倍(最終欠員171名)→408名中315名合格=1.30倍(最終欠員213名)→408名中394名合格=1.04倍(最終欠員598名)→417名受験408名合格=1.02倍(最終欠員509名)→288名受験261名合格=1.10倍(最終欠員527名)→228名受験228名合格=1.00倍(最終欠員1,236名)となっています。少々異常な数値ですね。人気校・不人気校の格差拡大という現実の中、「私立併願校選び」の重要性が増していることは間違いありません。

2 公立高校の入試制度

2022年度(令和4年度)入試

	一般募集
出願期間	2022年2月10日(木)＝郵送 2022年2月14日(月)・15日(火)
志願先変更期間	2022年2月17日(木)・18日(金)
選抜日程	2022年2月24日(木) 2022年2月25日(金)〈一部〉
合格発表	2022年3月 4日(金)
追検査	2022年3月 7日(月)
追検査合格発表	2022年3月 9日(水)
選抜方法	5教科学力検査＋調査書 特別実施項目 1) 傾斜配点 2) 面接・実技検査 3) 不登校生特別選抜 4) 帰国生特別選抜 5) 外国人特別選抜 2017年度からの変更点 1) 理社の試験時間＝各50分 2) 英数＝学校選択問題あり

2021年度(令和3年度)入試

	一般募集
出願期間	2021年2月15日(月)・16日(火)
志願先変更期間	2021年2月18日(木)・19日(金)
選抜日程	2021年2月26日(金) 2021年3月 2日(月)〈一部〉
追検査	2021年3月 3日(水)
合格発表	2021年3月 8日(月)
特例追検査	2021年3月12日(金)

2021年4月16日掲載の県教委発表資料にて、2022年度の入試日程変更が発表されています(左記)。特筆すべきは次の点です。
 ※追検査は学力検査から11日後の実施とする。
 ※濃厚接触者は、陰性、無症状、公共交通機関を利用しないという条件で、追検査を受検できる。
 ※インフルエンザ罹患者も追検査の対象とする。
 ※追検査は、原則、募集人員の枠外で選定する。
 新型コロナの影響は決して小さくはありません。

❖ 選抜方法と募集人員

選抜方法がいわゆる加算方式になり、募集人員以上の合格者を出す高校があります。全日制各高校の超過人数を合計すると97名(前年度165名、前々年度405名)で、減少傾向となっています。調査書点と学力検査点の合計得点で選抜しますので、同点の受験生を不合格にできないという事情があるのはもちろんですが、倍率の高い高校における「受け入れ枠への配慮」の指示もあるようです。

❖ 不登校の生徒を対象とした特別選抜について

全日制および定時制のすべての高校で実施されます。対象となるのは卒業見込みの生徒で、在学中学校長が該当すると認めた場合に、「自己申告書」を添付し出願します。第1次選抜において、学力検査の得点の合計と、調査書の学習の記録と出欠の記録以外の得点、その他の資料の得点及び自己申告書の内容により特別な選抜が行われます。全日制課程における実施状況は、以下のとおりです。

- 平成24年度一般募集 … 受験者327名、合格者240名、倍率1.36倍 ⇨ 受検者の73.4%が合格
 - 平成25年度一般募集 … 受験者292名、合格者214名、倍率1.36倍 ⇨ 受検者の73.3%が合格
 - 平成26年度一般募集 … 受験者326名、合格者250名、倍率1.30倍 ⇨ 受検者の76.7%が合格
 - 平成27年度一般募集 … 受験者336名、合格者239名、倍率1.41倍 ⇨ 受検者の71.1%が合格
 - 平成28年度一般募集 … 受験者316名、合格者239名、倍率1.32倍 ⇨ 受検者の75.6%が合格
 - 平成29年度一般募集 … 受験者335名、合格者251名、倍率1.33倍 ⇨ 受検者の74.9%が合格
 - 平成30年度一般募集 … 受験者309名、合格者253名、倍率1.22倍 ⇨ 受検者の81.9%が合格
 - 令和01年度一般募集 … 受験者300名、合格者240名、倍率1.25倍 ⇨ 受検者の80.0%が合格
 - 令和02年度一般募集 … 受験者317名、合格者242名、倍率1.31倍 ⇨ 受検者の76.3%が合格
 - 令和03年度一般募集 … 受験者250名、合格者195名、倍率1.28倍 ⇨ 受検者の78.0%が合格
- なお、定時制過程の特別選抜合格率は92.9%で、全日制よりも受かりやすくなっています。

調査書様式

(様式1)

令和4年度入学志願者調査書

(様式2)

成績及び諸活動等の記録通知書

志願先	高等学校
-----	------

第3学年 2組 1番				ふりがな さいたま さいこ 埼玉 彩子									
性別	女	生年月日	平成 18年 4月 15日生			卒業年月	令和 4年 3月 卒業見込						
1 各 教 科 の 学 習 の 記 録	教 科	評 定			2 選 択 教 科 の 学 習 の 記 録	学年	選択教科名	評定	3 総合的な 学習の時 間の記録	1学期は「京都奈良修学旅行および体育祭の取り組み」として班別行動計画作成などを行い、2学期は「合唱行事および進路学習の取り組み」において学習を進め、グループの学習に貢献することができた。			
		1年	2年	3年		1	保健体育	A					
				2		数 学							
		国語	3	4		5	2	保健体育	A	4 特 別 活 動 等 の 記 録	学 級	1年	給食委員
		社会	3	4		5	3	社 会	A		学 級	2年	学級委員
		数学	4	4		5	3	保健体育	A		学 級	3年	情報委員
		理科	4	3		4		技術・家庭	A		生徒会 活動		
		音楽	4	4		5					学校 行事		R 2 体育祭実行委員 R 3 修学旅行実行委員
		美術	4	4		4					その他		剣道部 部長 剣道2段 R 1 新人体育大会地区大会団体3位 R 3 学校総合体育大会地区大会優勝 県大会ベスト4 関東大会出場
		体育	4	4		5				5 出欠の 記録	学 年	欠席日数	欠席の主な理由
		技家	4	4		5					1	0	
		英語	4	4		5					2	0	
		合計	34	35		43					3	0	
備 考									6 そ の 他	漢字検定2級／英語検定3級 R 1 ゆめみの杯剣道大会団体戦準優勝 花と緑のボランティア参加 あしなが募金 校内合唱コンクール最優秀賞			

令和4年度埼玉県公立高等学校入学選抜のために作成した調査書の内容は、上記のとおり相違ありません。

【資料A】令和4年度入試主要高校選抜基準①

※「↑」「↓」は令和3年度入試との比較を表しています。

普通科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
浦和	1	1	2	180	70	70	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
大宮	1	1	2	180	90	90	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
浦和第一女子	1	1	2	180	120	35	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
市立浦和	1	1	2	180	120	60	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
春日部	1	2	4	315	100	85	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	39%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	1%	1次上位者を「特別活動の記録」選抜				
蕨	1	1	3	225	100	10	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	37%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
越谷北	1	1	2	180	70	20	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
浦和西	1	1	2	180	50	10	1次選抜	60%	500	336	-	836	60:40
							2次選抜	38%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	2%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
越ヶ谷	1	1	3	↑225	↑80	20	1次選抜	60%	500	335	-	835	59:41
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
川口北	1	1	2	180	↑80	50	1次選抜	70%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	↑30%	500	240	-	740	68:32
							3次選抜	↓0%	※3次選抜廃止				
川口市立	1	1	2	180	60	30	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
市立浦和南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	35%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜+通学距離				
春日部女子	1	2	3	270	70	10	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	0%					
越谷南	1	1	2	180	70	20	1次選抜	80%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	15%	500	500	-	1000	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」「その他項目」選抜				
与野	1	2	3	↑270	76	24	1次選抜	70%	500	370	-	870	57:43
							2次選抜	30%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
春日部東	1	1	3	225	94	16	1次選抜	80%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	15%	500	503	-	1003	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」選抜+通学距離				
草加	1	1	3	225	60	20	1次選抜	80%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	20%	500	400	-	900	56:44
							3次選抜	0%					
南稜	1	1	3	225	75	20	1次選抜	80%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	15%	500	400	-	900	56:44
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」「その他項目」選抜				

【資料A】令和4年度入試主要高校選抜基準②

※「↑」「↓」は令和3年度入試との比較を表しています。

普通科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
杉戸	1	1	2	180	50	20	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	0%					
川口	1	1	2	180	60	20	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	↑20%	500	600	-	1100	45:55
							3次選抜	↓0%	※3次選抜廃止				
越谷西	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	750	-	1250	40:60
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別活動の記録」選抜+通学距離				
久喜	1	1	2	180	45	25	1次選抜	60%	500	500	-	1000	50:50
							2次選抜	40%	500	350	-	850	59:41
							3次選抜	0%					
草加南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
草加東	1	1	3	225	80	45	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	18%	500	500	-	1000	50:50
							3次選抜	2%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
岩槻	1	2	3	270	↑60	↑30	1次選抜	70%	500	↓468	-	↓968	↑52:48↓
							2次選抜	↓27%	500	↓360	-	↓860	↑58:42↓
							3次選抜	↑3%	1次上位者を「特別活動」「その他」選抜(3次復活)				
浦和東	1	1	3	225	100	75	1次選抜	80%	500	400	-	900	56:44
							2次選抜	20%	500	600	-	1100	45:55
							3次選抜	0%					
越谷東	1	1	2	180	90	30	1次選抜	80%	500	360	-	860	58:42
							2次選抜	20%	500	600	-	1100	45:55
							3次選抜	0%					
草加西	1	1	3	225	75	35	1次選抜	80%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	17%	500	750	50	1300	40:60
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
三郷北	1	2	3	270	120	↓40	1次選抜	80%	500	↓430	50	↓980	↑54:46↓
							2次選抜	17%	500	↓860	100	↓1460	↑37:63↓
							3次選抜	3%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
川口東	1	2	3	270	40	20	1次選抜	80%	500	500	20	1020	50:50
							2次選抜	20%	500	345	↑40	↑885	59:41
							3次選抜	0%					
庄和	1	1	3	225	90	15	1次選抜	80%	500	330	50	880	60:40
							2次選抜	15%	500	990	50	1540	34:66
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
川口青陵	2	2	3	315	100	35	1次選抜	70%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	25%	500	675	100	1275	43:57
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
松伏	1	2	3	270	100	30	1次選抜	70%	500	720	100	1320	41:59
							2次選抜	25%	500	400	200	1100	56:44
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
八潮南	1	1	2	180	70	30	1次選抜	70%	500	364	50	914	58:42
							2次選抜	30%	500	392	70	962	56:44
							3次選抜	0%					
八潮	1	1	2	180	75	15	1次選抜	80%	500	540	100	1140	48:52
							2次選抜	12%	500	540	200	1240	48:52
							3次選抜	8%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
三郷	1	1	3	225	80	50	1次選抜	70%	500	355	100	955	58:42
							2次選抜	30%	500	568	150	1218	47:53
							3次選抜	0%					

【資料A】令和4年度入試主要高校選抜基準③

※「↑」「↓」は令和3年度入試との比較を表しています。

理数科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
大宮	1	1	2	180	90	90	1次選抜	60%	700	467	-	1167	60:40
							2次選抜	40%	700	300	-	1000	70:30
							3次選抜	0%					
越谷北	1	1	2	180	70	20	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
川口市立	1	1	2	180	60	30	1次選抜	60%	700	468	-	1168	60:40
							2次選抜	40%	700	302	-	1002	70:30
							3次選抜	0%					

外国語科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
蕨	1	1	3	225	100	30	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
春日部女子	1	2	3	270	↑70	10	1次選抜	80%	600	400	-	1000	60:40
							2次選抜	20%	600	260	-	860	70:30
							3次選抜	0%					
越谷南	1	1	2	180	70	30	1次選抜	80%	600	400	-	1000	60:40
							2次選抜	20%	600	600	-	1200	50:50
							3次選抜	0%					
南稜	1	1	3	225	75	20	1次選抜	80%	600	400	-	1000	60:40
							2次選抜	20%	600	480	-	1080	56:44
							3次選抜	0%					
草加南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				

人文学科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
春日部東	1	1	3	225	58	48	1次選抜	80%	800	535	-	1335	60:40
							2次選抜	20%	800	343	-	1143	70:30
							3次選抜	0%					

総合学科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
久喜北陽	1	2	3	270	80	20	1次選抜	60%	500	500	-	1000	50:50
							2次選抜	↑40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	↓0%	※3次選抜廃止				
幸手桜	1	1	2	180	40	30	1次選抜	70%	500	↑750	100	↑1350	↓40:60↑
							2次選抜	30%	500	500	↓100	↓1100	50:50
							3次選抜	0%					
吉川美南	1	2	3	270	70	60	1次選抜	70%	500	400	50	950	56:44
							2次選抜	25%	500	600	100	1200	45:55
							3次選抜	5%	1次上位者を「特」「他」+通学距離				
戸田翔陽	1	1	2	180	40	30	1次選抜	70%	500	400	400	1300	56:44
							2次選抜	30%	500	500	400	1400	50:50
							3次選抜	0%					

スポーツ科学	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
川口市立	1	1	2	180	↑150	↓30	1次選抜	60%	500	400	↓50	↓950	56:44
							2次選抜	35%	500	550	↓100	↓1150	48:52
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				

【資料A】令和4年度入試主要高校選抜基準④

※「↑」「↓」は令和3年度入試との比較を表しています。

総合技術	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
越谷総合技術	1	1	2	180	50	20	1次選抜	80%	500	500	50	1050	50:50
							2次選抜	20%	500	600	100	1200	45:55
							3次選抜	0%					

看護科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
常盤	1	1	2	180	30	15	1次選抜	80%	500	334	20	854	60:40
							2次選抜	20%	500	215	20	735	70:30
							3次選抜	0%					

商業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
浦和商业	1	1	2	180	40	30	1次選抜	80%	500	500	-	1000	50:50
							2次選抜	20%	500	750	-	1250	40:60
							3次選抜	0%					
岩槻商業	1	1	2	180	50	20	1次選抜	80%	500	500	廃止	1100	50:50
							2次選抜	↓15%	500	250	廃止	850	67:33
							3次選抜	↑5%	2次上位者を「特別活動」「その他」選抜(3次復活)				
八潮南	1	1	2	180	70	30	1次選抜	70%	500	364	50	914	58:42
							2次選抜	30%	500	392	70	962	56:44
							3次選抜	0%					

工業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
春日部工業	1	1	3	225	110	↓25	1次選抜	80%	500	↓432	50	↓982	↑54:46↓
							2次選抜	20%	500	↓576	50	↓1126	46:54
							3次選抜	0%					
久喜工業	1	1	2	180	100	20	1次選抜	80%	500	600	60	1160	45:55
							2次選抜	20%	500	750	60	1310	40:60
							3次選抜	0%					
三郷工業技術	1	2	2	225	100	90	1次選抜	80%	500	457	100	1057	52:48
							2次選抜	20%	500	415	100	1015	55:45
							3次選抜	0%					
浦和工業	1	1	1	135	45	20	1次選抜	80%	500	400	100	1000	56:44
							2次選抜	20%	500	350	100	950	59:41
							3次選抜	0%					
川口工業	1	1	1	135	100	30	1次選抜	80%	500	371	100	971	57:43
							2次選抜	20%	500	265	120	885	65:35
							3次選抜	0%					

農業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
杉戸農業	1	2	2	225	130	45	1次選抜	75%	500	500	100	1100	50:50
							2次選抜	25%	500	400	100	1000	56:44
							3次選抜	0%					

音楽科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	実技	満点	
大宮光陵	1	1	3	225	15	10	1次選抜	80%	500	500	800	1800	50:50
							2次選抜	20%	500	500	1000	2000	50:50
							3次選抜	0%					
松伏	1	2	3	270	100	30	1次選抜	70%	500	500	630	1630	50:50
							2次選抜	30%	500	500	450	1450	50:50
							3次選抜	0%					

「調査書の評定」と「学力検査」

2005年度(平成17年度)入試より、「学力検査の得点」と「調査書の評定」の取り扱いは、それまでの4:6～6:4ではなく、3:7～7:3の範囲で学校・学科・コースごとに選べるようになりました。2010年度(平成22年度)入試以降の制度では、「学力検査の得点」に各高等学校で定める配点による「調査書の得点」および「実技検査等の得点」(実施する場合)を加えた合計得点で選抜しますが、その際、「学力検査」と「調査書」の配点比が、第1次選抜では4:6～6:4の範囲の値に、第2次選抜では3:7～7:3の範囲の値になるように決められていますので、各選抜段階において、いずれか一方を重視する制度は継続されています。公表される各高校の選抜基準の「選抜の基本方針」の欄には「学力検査」と「調査書」のどちらを重視するかが明記されていますが、多くの高校で第1次選抜6:4、第2次選抜7:3を採用していますので、学力重視傾向にあると言ってよいでしょう。

また、調査書の評定を3学年併記とする制度も継続されています。各学年評定の比重は高校、学科ごとの裁量で決められますが、例えば評定比率が1:1:3の高校の場合、 $45 \times 1 + 45 \times 1 + 45 \times 3 = 225$ 点満点となりますので、志望校の評定がどのようになっているかは必ず確認してください。自分の持ち点があまりにも低いと、受験する前から結果が見えてしまうということにもなりかねません。昨年度は、緊急事態宣言による臨時休校措置の影響で、評定比率を変更する学校も見受けられましたが、基本的には中3評定の比率を高くしている高校がほとんどですから、中3の1学期・2学期定期テストは、非常に大切なものとなります。

■調査書の評定

2010年度(平成22年度)入試からは、学力検査点以外も点数化される入試となりました。高校により違いはありますが、受験する前の「持ち点」となる調査書の点数が合否に大きな影響を及ぼすことは言うまでもありません。2021年度(令和3年度)入試の高校別選抜基準を見ても学力重視傾向にあり、加算方式導入時の2010年度(平成22年度)入試と比較しても、調査書の比率を下げている学校が多く見受けられます。

さて、ここで通知票の評定によって、どれくらい差が生じるのかを確認しておきましょう。評定の異なるA君～E君がいます。便宜上、それぞれが3年間同じ評定だったと仮定し、各高校の選抜基準に基づいて「学習の記録の得点」をそれぞれ算出してみると、下表のようになります。

		越谷北[1:1:2]		越ヶ谷[1:1:3]		越谷南[1:1:2]		草加[1:1:3]		越谷西[1:1:2]	
選抜段階		1次	2次	1次	2次	1次	2次	1次	2次	1次	2次
各学校の係数		1.24	0.80	1.03	0.66	1.24	1.85	1.10	1.64	1.50	3.00
A君	評定39	193	125	201	129	193	289	215	320	234	468
B君	評定36	179	115	185	119	179	266	198	295	216	432
C君	評定33	164	106	170	109	164	244	182	271	198	396
D君	評定30	149	96	155	99	149	222	165	246	180	360
E君	評定27	134	86	139	89	134	200	149	221	162	324
中3評定価値		2.48	1.60	3.09	1.98	2.48	3.70	3.30	4.92	3.00	6.00

評定値ではわずか3点ずつの差しかないように思うかもしれませんが、3年間の積み重ねに評定比率と係数を乗じると、こんなにも差が開いてしまうわけですね。上表の「中3評定価値」というのは、3年次の評定1ポイントあたりの得点です。学校の係数によって異なってきますが、学力検査の小問配点が2点～6点であることを鑑みれば、3年次の評定1ポイントは学力検査問題1問分となり、学力重視校では配点の低い記号問題、調査書重視校では配点の高い記述問題と同等の価値を有するとは言えるのではないのでしょうか。また、オール4のB君とオール3のE君では、第1次選抜において50点前後の差が生じていますが、学力検査の各科目平均が50点前後ですので、E君はB君に対して約1教科分のハンデを背負って入試本番に臨むことになります。この差は、学力検査で簡単に挽回できるというものではありません。

■その他項目の得点

「選択教科の学習の記録」「総合的な学習の時間の記録」などが評価の対象ですが、ここで最も大切なのは各種検定の「資格取得」でしょう。ただし、学校によって評価基準が異なりますので、志望校の選抜基準は確認しておかなければなりません。「特別活動の記録の得点」ほど大きな配点ではありませんが、それでも通知票の評定と同じく、自分の「持ち点」となるものですから、資格取得に向けた努力をすることは必要です。「どうせ合格できない」と最初から諦めるのではなく、「志望校合格への一歩」として積極的にチャレンジするようにしてください。

【資料B】主要高校の検定評価対象

	英語検定				漢字検定					数学検定					その他
	4	3	P2	2	4	3	P2	2	P1	4	3	P2	2	P1	
浦和	-	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	数学オリンピック
大宮	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	
浦和一女	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	
市立浦和	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	武道段位
春日部	-	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	数学オリンピック
蕨	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	柔道・剣道段位
越谷北	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	
浦和西	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	
越ヶ谷	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	
川口北	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	
川口市立	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	
市立浦和南	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	新体カテストA
春日部女子	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	
越谷南	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
春日部東	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
草加	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
杉戸	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
越谷西	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	
草加南	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
草加東	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	剣道・空手段位
越谷東	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	書道・剣道・柔道
草加西	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	珠算・暗算
三郷北	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	書道・ワープロ
川口東	?	○	○	○	?	○	○	○	○	?	○	○	○	○	武道有段者
松伏	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
八潮南	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	珠算・パソコン
吉川美南	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	珠算・柔道・剣道
八潮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	珠算・書道・武道

■学力検査

2010年度(平成22年度)から学力検査は100点満点になりました。県教育局によれば、「思考力、判断力、表現力などを、十分に把握できるよう配点に差を設け、学力検査の結果に反映させるため」とのこと。また、出題の基本方針に、「出題の内容、出題数に配慮するとともに、記述による解答を求めるよう配慮する」とありますが、実際に学力検査問題は基礎から応用まで幅広く出題され、記述問題を中心に構成されています。また、記述問題に対しては、県教委による「学力検査の採点の手引き」にあるように、部分点を設け点差が開くような工夫がなされています。参考までに、ここ7年間の平均点は以下のとおりです。記述問題の増加に加え、新学習指導要領に基づいた出題もあり、入試問題は全体的に難しくなっていますが、難問が多く、平均点も低いと、得点差がつきにくく、努力が報われない入試になってしまいます。そうすると、調査書評定が低い生徒には不利でしょう。

一般	国語	数学	英語	社会	理科	合計
26年度	64.0	45.0	45.0	49.5	46.1	249.6
27年度	56.0	48.1	55.6	50.3	49.5	259.1
28年度	57.9	51.1	57.4	63.7	39.2	269.4

	学力検査問題					選択問題	
	国語	数学	英語	社会	理科	数学	英語
29年度	53.3	44.4	52.0	60.6	48.5	43.2	71.9
30年度	52.8	44.0	55.9	55.9	51.7	43.7	58.9
01年度	58.3	42.3	47.7	60.3	44.5	53.5	64.3
02年度	57.2	67.9	52.2	55.4	51.1	55.2	58.9
03年度	68.7	62.2	51.4	62.6	56.2	56.0	61.6

令和3年度入試も、比較的バランスの良い平均点となりました。しかし、まだ、英語の「学校選択問題」が易しいという印象が拭えません。もう少し難しくてもよいのではないのでしょうか。また、平均点の低さに問題があった数学の「学力検査問題」については、2年連続で易しい問題となっています。国語と社会も例年になく簡単でした。なお、今年は教科書改訂初年度。ご存知のとおり、教科書がとて難くなっていますから、残念ながら、来年度は全体的に難しくなることが予想されます。

<「学校選択問題」を採用する高校>

浦和、浦和一女、市立浦和、浦和西、大宮、市立大宮北、蕨、川口北、川口市立(初参加)、川越、川越女子、川越南、和光国際、所沢、所沢北、熊谷、熊谷女子、熊谷西、春日部、不動岡、越ヶ谷、越谷北(以上22校)

※市立大宮北高校が新規採用となりました。

■学力検査点:調査書点

選抜方法が変更となった2010年度(平成22年度)入試においては、各学校とも手探りの状態だったので、全体的には例年よりも調査書のウエイトが大きかったと言えるかもしれません。しかし、絶対評価には疑問の声が多くあり、2011年度(平成23年度)入試以降の選抜基準を通覧しても、「学力重視への軌道修正」という印象を受けます。

ちなみに、2022年度(令和4年度)入試に関して、おもな普通科高校を分類してみると、以下のようになります。

令和4年度入試第1次選抜	
学力:内申 = 6:4	学力:内申 = 5:5
<input type="checkbox"/> 浦和 <input type="checkbox"/> 浦和一女 <input type="checkbox"/> 春日部 <input type="checkbox"/> 浦和西 <input type="checkbox"/> 川口北 <input type="checkbox"/> 川口市立 <input type="checkbox"/> 春日部東 <input type="checkbox"/> 与野 <input type="checkbox"/> 草加 <input type="checkbox"/> 川口 <input type="checkbox"/> 越谷西 <input type="checkbox"/> 草加東 <input type="checkbox"/> 越谷東 <input type="checkbox"/> 八潮南 <input type="checkbox"/> 吉川美南	<input type="checkbox"/> 大宮 <input type="checkbox"/> 市立浦和 <input type="checkbox"/> 蕨 <input type="checkbox"/> 越谷北 <input type="checkbox"/> 越ヶ谷 <input type="checkbox"/> 浦和南 <input type="checkbox"/> 越谷南 <input type="checkbox"/> 春日部女子 <input type="checkbox"/> 南稜 <input type="checkbox"/> 杉戸 <input type="checkbox"/> 草加南 <input type="checkbox"/> 浦和東 <input type="checkbox"/> 庄和 <input type="checkbox"/> 三郷 <input type="checkbox"/> 戸田翔陽
	学力:内申 = 4:6
	<input type="checkbox"/> 久喜 <input type="checkbox"/> 岩槻 <input type="checkbox"/> 鳩ヶ谷 <input type="checkbox"/> 川口東 <input type="checkbox"/> 三郷北 <input type="checkbox"/> 川口青陵 <input type="checkbox"/> 八潮 <input type="checkbox"/> 栗橋北彩 <input type="checkbox"/> 岩槻北陵 <input type="checkbox"/> 宮代 <input type="checkbox"/> 松伏 <input type="checkbox"/> 幸手桜

⇒

令和4年度入試第2次選抜	
学力:内申 = 7:3	学力:内申 = 5:5
<input type="checkbox"/> 浦和 <input type="checkbox"/> 浦和一女 <input type="checkbox"/> 春日部 <input type="checkbox"/> 浦和西 <input type="checkbox"/> 川口北 <input type="checkbox"/> 川口市立 <input type="checkbox"/> 与野 <input type="checkbox"/> 杉戸	<input type="checkbox"/> 大宮 <input type="checkbox"/> 市立浦和 <input type="checkbox"/> 蕨 <input type="checkbox"/> 越谷北 <input type="checkbox"/> 越ヶ谷 <input type="checkbox"/> 浦和南 <input type="checkbox"/> 春日部女子 <input type="checkbox"/> 草加南 <input type="checkbox"/> 春日部東 <input type="checkbox"/> 越谷南 <input type="checkbox"/> 川口 <input type="checkbox"/> 草加東 <input type="checkbox"/> 越谷東 <input type="checkbox"/> 三郷 <input type="checkbox"/> 幸手桜 <input type="checkbox"/> 吉川美南 <input type="checkbox"/> 戸田翔陽
	学力:内申 = 4:6
<input type="checkbox"/> 草加 <input type="checkbox"/> 久喜 <input type="checkbox"/> 鳩ヶ谷 <input type="checkbox"/> 松伏	<input type="checkbox"/> 南稜 <input type="checkbox"/> 岩槻 <input type="checkbox"/> 川口東 <input type="checkbox"/> 八潮南 <input type="checkbox"/> 越谷西 <input type="checkbox"/> 草加西 <input type="checkbox"/> 三郷北 <input type="checkbox"/> 川口青陵 <input type="checkbox"/> 栗橋北彩 <input type="checkbox"/> 岩槻北陵 <input type="checkbox"/> 宮代 <input type="checkbox"/> 庄和(3:7)

通学距離および通学時間

「地域に根ざした学校づくり」のため、第3次選抜で「通学距離および通学時間」を点数化する学校があります。

<「通学距離および通学時間」を選抜の資料とするおもな高校>

岩槻商業、岩槻北陵、春日部東(普)、栗橋北彩、越谷西、庄和、白岡、松伏(普)、三郷北、宮代、八潮、吉川美南、鷺宮、川口市立(スポーツ科学)、市立浦和南など

面接試験・実技試験

2009年度(平成21年度)まで全校で実施されていた面接試験(または実技試験)は各高校の選択実施となり、実施の場合には点数化され合計の際に加算されます。なお、令和4年度入試における面接実施校は68校(前年度69校)ですが、選抜基準を見ると、上位校(学力重視校)は面接を実施しない傾向にあり、普通科下位層や専門学科に面接採用校が集中していると言えそうです。面接試験＝人物評価として位置づけた結果だと思いますが、中には驚くほど高得点を配している高校もありますので注意してください。

普通科	1次選抜	2次選抜	3次選抜	専門学科	1次選抜	2次選抜	3次選抜
岩槻北陵	100	200	○	岩槻商業	廃止	廃止	-
川口青陵	50	100	○	浦和工業	100	100	-
川口東	20	↑40	-	大宮工業	100	100	-
栗橋北彩	200	200	○	大宮商業	50	50	-
庄和	50	50	○	春日部工業	50	50	-
白岡	100	100	○	川口工業	100	120	-
草加西	50	50	○	久喜工業	60	60	-
鳩ヶ谷	50	40	○	越谷総合技術	50	100	-
松伏	100	200	○	杉戸農業	100	100	-
三郷	100	150	-	常盤	20	20	-
三郷北	50	100	○	三郷工業技術	100	100	-
宮代	↓50	↓50	○	八潮南(商・情)	50	70	-
八潮	100	200	○	幸手桜	100	↓100	-
八潮南	50	70	-	吉川美南	50	100	×
鷺宮	100	100	○	戸田翔陽	400	400	-
川口市立(スポ)	↓50	↓100	○				

○ … 3次選抜で面接が評価対象になる。 × … 3次選抜で面接は評価対象にならない。 - … 3次選抜がない。

入試選抜方法イメージ

- 令和4年度越谷西高校入学者選抜の場合 -

[第1次選抜] 募集人員の80%決定

☞[学]500+[調]375

学力検査点					調査書点		
数	英	国	理	社	評定	特	他

875点満点

[第2次選抜] 募集人員の15%決定

☞[学]500+[調]750

学力検査点					調査書点		
数	英	国	理	社	評定	特	他

1250点満点

[第3次選抜] 募集人員の5%決定

☞第1次選抜一定順位者を対象

特別活動の記録	通学距離
---------	------

満点非公表

※「特別活動の記録」に特長があっても、第1次選抜で一定順位内に入らなければ、選抜の対象にはなりません。

募集人員と倍率

2009年度(平成21年度)まで高騰していた前期募集倍率は、2010年度(平成22年度)入試より、前期募集で8割程度を合格させることによって数値の上では大幅に緩和(2009年度平均倍率2.88倍・普通科3.78倍 → 2010年度平均倍率1.49倍・普通科1.65倍 → 2011年度平均倍率1.44倍・普通科1.53倍)、一方、後期募集は2010年度(平成22年度)以降厳しい入試となりました(2009年度平均倍率1.32倍・普通科1.34倍 → 2010年度平均倍率1.78倍・普通科1.79倍 → 2011年度平均倍率1.57倍・普通科1.57倍)。2012年度(平成24年度)入試から1回入試となり、この10年間の平均倍率は1.15倍 → 1.17倍 → 1.18倍 → 1.18倍 → 1.19倍 → 1.19倍 → 1.18倍 → 1.17倍 → 1.14倍 → 1.13倍、普通科倍率も1.15倍 → 1.19倍 → 1.20倍 → 1.20倍 → 1.22倍 → 1.21倍 → 1.21倍 → 1.20倍 → 1.16倍 → 1.15倍でしたので、問題視されていた高倍率状態は解消され、昨年度入試は、1回入試史上、最も緩やかな入試となりました。

不景気や公立高校授業料無償化の影響でしょうか、公立志望者の割合が高いことは事実です。一方、1回入試となり、人気校・不人気校の差がはっきりしてきていることも否めません。安全志向型の受験傾向のようにも感じられますが、埼玉県の授業料軽減補助制度が浸透してきたこともあり、「公立の二極化」は今後も進行していくのではないのでしょうか。そして、将来的には、「選ばれない学校」が再編・統廃合の対象になっていくのです。

【資料C】昨年度入試高倍率校

《普通科系》				《職業・芸術科系》	
01) 大宮[理数]	2.28倍	14) 大宮	1.47倍	01) 市立川越[国際経済]	1.60倍
02) 市立大宮北[理数]	2.27倍	15) 所沢北	1.43倍	久喜工業[情報技術]	1.60倍
03) 川口市立[理数]	2.05倍	16) 不動岡[外国語]	1.40倍	浦和商業[情報処理]	1.60倍
04) 市立浦和	1.84倍	17) 浦和西	1.37倍	04) 大宮光陵[美術]	1.48倍
05) 越谷北[理数]	1.73倍	18) 蕨	1.36倍	05) 越谷総合技術[情報技術]	1.38倍
所沢北[理数]	1.73倍	19) 浦和一女	1.35倍	06) 市立川越[情報処理]	1.33倍
松山[理数]	1.73倍	川越	1.35倍	07) 浦和工業[情報技術]	1.30倍
08) 川口市立	1.71倍	南稜	1.35倍	08) 川越工業[電気]	1.28倍
09) 川越南	1.66倍	22) 越谷北	1.34倍	09) 川越工業[デザイン]	1.25倍
10) 市立川越	1.62倍	23) 越ヶ谷	1.33倍	10) 杉戸農業[生物生産技術]	1.23倍
11) 川口市立[スポーツ]	1.50倍	24) 不動岡	1.32倍	11) 常盤[看護]	1.21倍
越谷南[外国語]	1.50倍	市立大宮北	1.32倍	12) 狭山経済[情報処理]	1.20倍
13) 春日部女子[外国]	1.48倍	26) 蕨[外国語]	1.30倍	芸術総合[美術]	1.20倍

さて、上表から昨年度入試を振り返ると、以下のことが言えます。

- ① 普通科系で2.0倍を超えた学校はすべて理数科となっています。2020年度入試では0校でした。
- ② 普通科系で1.5倍を超えた学校は12校、2020年度入試では7校でした。
- ③ 普通科系で1.3倍を超えた学校は26校、2020年度入試でも26校でした。
- ④ 普通科系では、理数科の人气が非常に高まっています。
- ⑤ 職業・芸術系では、情報系・美術系の学科が人気上昇傾向にあると言えるでしょう。
- ⑥ 上記以外の職業系専門学科は倍率が低く、越谷総合技術や杉戸農業等、入りやすくなった印象があります。
- ⑦ 大宮高校普通科が勢いを盛り返してきた印象です。一方、高倍率常連校である浦和、川口北、市立浦和南の倍率がさほど高くなかったことに少々驚きを感じています。

3 公立高校入試変更点

学科転換	不動岡[普通科320名・外国語科40名⇨普通科360名]
募集人員	伊奈学園総合[760名⇨800名], 浦和北[320名⇨360名], 大宮東[普通科240名・体育科80名⇨普通科280名・体育科80名], 春日部女子[普通科240名・外国語科40名⇨普通科280名・外国語科40名], 川口[320名⇨360名], 越ヶ谷[320名⇨360名], 庄和[160名⇨200名], 草加南[普通科240名・外国語科40名⇨普通科280名・外国語科40名]
選抜基準	岩槻[特別活動の記録40点⇨60点, その他項目15点⇨30点, 3次選抜復活], 岩槻商業[面接廃止], 川口[3次選抜廃止], 川口市立(スポ)[面接(1次)100点(2次)200点⇨(1次)50点(2次)100点], 川口北[特別活動の記録50点⇨80点, 3次選抜廃止], 川口東[2次選抜面接20点⇨40点], 越ヶ谷[評定比率1:1:2⇨1:1:3, 特別活動の記録60点⇨80点], 幸手桜[2次選抜面接150点⇨100点], 庄和[評定比率1:2:2⇨1:1:3], 三郷北[その他項目60点⇨40点], 宮代[面接100点⇨50点], 与野[評定比率1:2:2⇨1:2:3]
調査書	県教委「令和4年度高等学校入学者選抜に関する出席停止の扱いについて」 ⇨県公立高校入試の調査書の「出欠の記録」欄には、出席日数や出席停止の日数の記載欄を 設けておりません。新型コロナウイルス感染症等の影響により、出席停止となっても、県公立高校 入試で不利益はありません。
志願変更	県教委「令和4年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施要項」 令和4年2月17日(木)から2月18日(金)まで 受付時間は、2月17日(木)は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後4時30分まで 2月18日(金)は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後4時までとする。
合格発表	県教委「令和4年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における受検生心得」 (1) 令和4年3月4日(金)午前9時に、各志願先高等学校の <u>入学許可候補者の受検番号をウェブ に掲載</u> する。なお、追検査は3月9日(水)に、 <u>電話により発表</u> する。 (2) 入学許可候補者は、受検票を持参し、志願先高等学校長から必要書類を受け取ること。
中等教育	さいたま市立大宮国際中等教育学校 さいたま市立大宮国際中等教育学校普通科後期課程第4学年定員は160人である。 〈注〉令和4年度にさいたま市立大宮国際中等教育学校が開校4年目となり高等学校1年生に相 当する学級が4学級になることによるもの。第4学年については、前期課程第3学年からの進級者 であるため、新たな募集を行わない。

首都圏私立高校入試について

1 私立高校入試概況

首都圏の私立高校入試は、埼玉県公立高校の入試制度改革と密接に関連しながら推移しています。埼玉県私立高校の場合、埼玉県公立高校の前期・後期制への移行と同時に、従来の推薦入試(1月22日～)・一般入試(2月1日～)という入試区分が、前期入試(1月22日～)・後期入試(2月10日～)という区分に変更されました。しかし、当初から後期入試は形骸化し、2022年度(令和4年度)入試に関する埼玉県私立中学高等学校協会の申し合わせでも、1月22日を「入学者選抜の開始日」として規定するにとどまっています。千葉県私立高校の前期選抜は1月17日、東京都私立高校の単願推薦および都外生対象の併願推薦も、例年どおり1月22日に開始となりますので、2022年度(令和4年度)私立高校入試も「1月入試」が中心となるでしょう。

埼玉県私立高校

【前期入試】1月22日～

【後期入試】規定なし ☞公立高校の合格発表後に入試を設定する学校もあります。

東京都私立高校

【推薦入試】1月22日～ ☞この期間に実施される「併願推薦」は都外生対象の入試です。

【併願優遇】2月10日～ ☞都内生を対象とした入試です。

【一般入試】2月10日～

千葉県私立高校

【前期選抜】1月17日～ ☞募集人員の割合を見ても、前期中心の入試となっています。

【後期選抜】2月5日～

埼玉県公立高校入試が2012年度(平成24年度)入試から3月初旬に1回だけの実施となり、公立中学校側からも入試遅延化の要請があるようですが、隣接都県の私立高校入試日程と絡む問題ですので、容易には実現できないと思われます。既に埼玉県私立高校の入試解禁日は1月22日に定められましたが、入試遅延化の要請は、そもそも公立中学校の3学期授業時間の確保が目的ですので、公立高校の入試だけが2月下旬にずれ込んでも、あまり効果はありません。現状では、私立高校入試=1月下旬、公立高校入試=2月下旬と、1月下旬から約1か月間は、埼玉県内の大部分の受験生にとって入試のない期間となり、入試が間延びしてしまう感も否めません。この期間、受験生にとってはモチベーションをいかに維持するかが課題となるでしょう。

2 私立高校の入試制度

➤ 推薦入試 ◀

■ 単願

私立高校第1志望の場合の推薦入試です。合格したらすぐに入学手続きをしなければなりません。

■ 併願

公立高校第1志望の場合の推薦入試です。合格発表後、公立高校の入試結果が判明するまで、入学手続きを保留できます。ただし、延納手続きが必要な場合もありますので、ご注意ください。

併願(推薦)は単願(推薦)よりも推薦基準が高く、一般的に試験内容も難しくなっています。また、単願(推薦)、併願(推薦)とも定員を超えた場合や当日の点数が極端に低い場合には不合格になりますので、いずれの推薦においても、100パーセント合格できるという保証は原則ありません。したがって、たとえ推薦入試であっても他の私立高校を受験したり、同じ高校のスライド合格制度(下位のコースへの合格)などを利用する必要があります。

埼玉県では、単願・併願とも1月中に入試が実施されます。東京都私立高校の推薦入試や千葉県私立高校の前期選抜も1月に実施されています。したがって、受験生は1月中に合格校を確保するつもりでなければいけません。2月入試まで視野に入れるのは、慶應義塾志木、立教新座などの最難関校や推薦制度のない高校の一般入試を受験したり、1月中に合格を確保できなかった併願校を再受験したりする場合に限られるでしょう。なお、推薦基準(受験の目安)にまったく届かない場合、通知票に「1」がある場合、欠席日数が著しく多い場合などは、一般入試しか受験させてもらえないという可能性もありますのでご注意ください。

【令和4年度入試における私立高校延納手続条件】

＜延納手続きを必要としなかった埼玉県内高校＞

開智、開智未来、春日部共栄、川越東、秀明英光、淑徳与野、城北埼玉、西武台、星野、細田学園

＜延納手続きを必要とした埼玉県内高校＞ ※()内は延納手続金の額

浦和学院(¥10,000)、浦和実業(¥20,000)、浦和麗明(¥10,000)、叡明(¥10,000)、大宮開成(¥5,000)、埼玉栄(¥10,000)、栄北(¥10,000)、栄東(¥20,000)、昌平(¥10,000)、西武学園文理(¥20,000)、獨協埼玉(¥30,000)、花咲徳栄(¥10,000)、武南(¥20,000)

※東京都内の私立高校の併願推薦では延納手続金はかかりません。他県でも延納手続金不要の高校が増えています。

学校説明会・個別相談

推薦入試と切り離すことができないのが「個別相談」です。従来、中学校の先生と私立高校との間で行われた「入試相談」は1998年度(平成11年度)入試で解消されました。そのため、現在ほとんどの私立高校で、推薦の目安や合格の可能性を保護者・受験生と直接相談する機会が設定されています。単願も併願も、推薦入試はこの「個別相談」をしないと受験することができません。最近では「確約」に近い言葉を用いる学校もありますので、受験する可能性がある場合は必ず参加してください。なお、個別相談＝面接試験という意味合いもありますので、しつたりとした服装・態度で臨むことが大切です。また、「学校説明会」はその学校を知る絶好の機会ですので、こちらも忘れずに参加しておきましょう。

➤ 一般入試 ◀

当日の試験結果のみで合否を判定するのが一般入試です。最難関校や併願推薦制度を持たない高校は一般入試を受験することになります。それ以外の私立高校は単願や併願の推薦枠でほとんどの生徒を募集してしまいますから、一般入試の募集枠は少なく、簡単には合格できません。したがって、私立高校の一般入試を受験する場合には、必ず複数の高校を受験する必要があります。

私立高校が第1志望の場合

■ 第1志望校

■ 第1志望校と同程度の高校および実力相応の高校(併願推薦を含む) …………… 2～3校

公立高校が第1志望の場合

■ 第1志望校と同程度の高校(併願推薦を含む) …………… 1～2校

■ 実力相応の高校(併願推薦入試) …………… 1～2校

【資料D】主要私立高校推薦基準一覧①

※基準緩和措置などもあります。

私立高校		学科・コース	単願				併願				
			3科	5科	9科	偏差	3科	5科	9科	偏差	
埼玉県	浦和学院	共	グローバル		21	40	64		23	42	66
			T特		22		68		22		69
			S特		22		63		22		65
			特進		20		58		22		60
			文理選抜	11	18	33	54	12	19	34	56
			文理進学	10	17	31	51	11	18	32	53
			総合進学	9	16	29	48	10	17	30	50
			アスリート選抜		16	30	50		17	31	52
			保健医療		17	31	53		18	32	55
	アート		16	28	50		17	30	52		
	浦和実業学園	共	特進選抜		21	38	61		22	40	63
			特進		19	34	58		21	38	61
			選抜α		17	32	55		19	35	58
			選抜		16	31	53		17	33	56
			進学		15	28	50		16	31	54
	総合進学・情報進学		13	24	47		15	28	50		
	浦和麗明	共	特選Ⅰ類		23		65		24		67
			特選Ⅱ類		22		62		23		64
			特選Ⅲ類		21		60		22		62
特進				20	35	57		21	36	59	
叡明	共	特別選抜Ⅰ類	13	23		64	14	24		66	
		特別選抜Ⅱ類	13	22		62	14	23		64	
		特別進学Ⅰ類	12	20		58	13	21		60	
		特別進学Ⅱ類	12	19		56	13	20		58	
		進学Ⅰ類	11	18		54	12	19		56	
		進学Ⅱ類	11	17		52	12	18		54	
大宮開成	共	特進選抜先進				69				70	
		特進選抜Ⅰ類				66				67	
		特進選抜Ⅱ類				63				64	
開智	共	Tコース				70				72	
		Sコース				68				70	
		Dコース			41	66			42	68	
春日部共栄	共	選抜				67				70	
		特進E系				64				67	
		特進S系				60				64	
川越東	男	理数	13		40	70	13		40	70	
		普通	12		34	63	13		37	66	
埼玉栄	共	α	13	22	39	65	14	23	40	66	
		S	12	20	36	60	13	21	37	62	
		特進	10	17	32	52	11	18	33	55	
		保健体育	9	16	28	50	10	17	30	55	
栄東	共	東・医			35	70			35	72	
		アルファ			35	69			35	70	
秀明英光	共	特別進学			27	-			29	-	
		国際英語			26	-			27	-	
		総合進学			18	-			21	-	
淑徳与野	女	T類(難関国公立)				70.0				71.0	
		SS類(難関理系)				69.0				70.0	
		SA類(難関文系)				68.0				69.0	
		R類(総合文理系)				66.5				-	
昌平	共	IB		23	41	65		24	42	67	
		T特選				69				71	
		特選		23	41	65		24	42	67	
		特進アスリート		23	41	65		24	42	67	
		選抜・選抜アスリート		20	37	61		21	38	63	

【資料D】主要私立高校推薦基準一覧②

※基準緩和措置などもあります。

私立高校		学科・コース	単願				併願				
			3科	5科	9科	偏差	3科	5科	9科	偏差	
埼玉県	城北埼玉	男	本科・フロンティア	12	19	36	60	13	21	38	64
	獨協埼玉	共	普通				63				66
	花咲徳栄	共	理数選抜・特別選抜		21		60		23		62
			文理選抜		18		56		20		58
			選抜進学		17		53		18		55
			特別進学		16		51		17		53
			総合進学・食育実践(単のみ)	9	15	27	48	10	16	29	50
	武南	共	特進		20		66		20		67
			選抜				62				63
			進学		19		57		20		59
東京都ほか	足立学園	男	探究		23		63		24		64
			文理		20		58		22		60
			総合		18		54		20		56
	岩倉	共	普通科7限制	11	18		60	11	19		62
			普通科6限制		15	29	53		15	30	55
			運輸			30	-			31	-
	上野学園	共	特別進学 α		21		58		22		60
			特別進学 β		18		54		19		56
			総合進学	10	16	28	47	11	17	29	49
	北豊島	女	特進	11	17		58	11	17	32	58
総合			9		26	43	9	15	26	43	
国際英語			英4			英57	英4		28	英57	
京華	男	S特進		22		64		24		66	
		特進	12	20		60	13	21		62	
		進学	10	17		56	11	18		58	
京華商業	共	商業	9		26	44	10		27	46	
京華女子	女	特奨		22		63		23		65	
		特進	12	20		60	13	21		62	
		進学	10	16	29	53	11	17	30	55	
駒込	共	理系先進	14			68	14			71	
		国際教養	14			67	14			70	
		特S	14	22		64		23		68	
		S	12	20	36	60		21		64	
桜丘	共	難関選抜		22		66		22		68	
		文理特進・グローバル		18		54		20		56	
		キャリアデザイン		17		-		19		-	
順天	共	理数選抜	14	21			15	23			
		英語選抜・特進選抜	13	20			14	22			
潤徳女子	女	特進	11	18		53	12	20		56	
		進学	9		26	46	10		28	48	
		美術			26	46			28	48	
瀧野川女子学園	女	特進選抜		20		58		21		59	
		特進		16		53		18		55	
		進学	9			47	10			49	
東京成徳大学	共	特別進学		22		62		23		64	
		進学選抜		19		57		20		59	
		進学		17		54		18		56	
東洋女子	女	特別進学		20		60		20		60	
		総合進学		16				17			
東洋大学京北	共			21		-		23		-	
文京学院大学女子	女	理数・国際教養(Tクラス)	12	20		58	13	21		60	
		理数・国際教養(Aクラス)	10	17		50	11	18		52	
武蔵野	共	特進ステージ	10	17	29	-	11	18	31	-	
		進学ステージ	8	13	24	-	9	14	26	-	
西武台千葉	共	特選		19	37	62		20	38	63	
		進学		16	30	53		18	33	56	

➤ 特待生制度 ◀

「私立高校に魅力を感じるが、経済的負担を考えると… 特待制度を活用できないか？」というお声は毎年聞かれます。確かに、特待生になれば、公立高校と大差ない学費で、3年間理想的な学習環境に身を置くことができますね。実際のところ、少子化や不景気の影響で、私立高校側も特待生制度や奨学生制度の拡充を図っています。しかしながら、特待生ともなれば、常に成績上位にいなければなりませんし、最難関大学への合格も期待されますので、進学に対するしっかりとした目的意識が必要になることは言うまでもありません。そして、何よりその基準(目安)はかなり高く、偏差値70近い受験生でないと、特待生にチャレンジすることが難しいというのが現状です。

ただ、以下の学校は「狙い目」というか、検討の価値があるといつてよいのではないのでしょうか。比較的基準が低く、学校自体もしっかりしているので、ご興味があれば、ぜひ相談に出向いてみてください。

浦和麗明

【奨学生Ⅰ】 入学金・授業料・施設設備費・環境維持費給付➡進級時継続審査

[基準] 単願64・併願66(9月以降の北辰偏差値2回平均)で、欠席10日以内

【奨学生Ⅱ】 入学金・授業料・環境維持費給付➡進級時継続審査

[基準] 単願62・併願64(9月以降の北辰偏差値2回平均)で、欠席10日以内

潤徳女子

【学力特待Ⅰ種】 入学金免除・360,000円給付(年度末)

[基準] 単願＝評定5科21 or 北辰 偏差5科58, 併願＝評定5科22 or 北辰偏差5科60

【学力特待Ⅱ種】 入学金免除・180,000円給付(年度末)

[基準] 単願＝評定5科20 or 北辰 偏差5科56, 併願＝評定5科21 or 北辰偏差5科58

上野学園

【特待S】 入学金・施設設備資金免除＋授業料月額1万円(就学支援金を差し引く前の金額)

[基準] 単願＝北辰偏差65, 併願＝北辰偏差65(ただし2回以上)

【特待A】 入学金免除＋授業料月額2万円(就学支援金を差し引く前の金額)

[基準] 単願＝北辰偏差62, 併願＝北辰偏差63(ただし2回以上)

どれもマイنز生にとっては、通学エリア内にある学校です。例えば、潤徳女子高等学校を見ると、偏差値60(併願)で学力特待Ⅰ種の資格をもらえるわけですが、偏差値60と言えば越ヶ谷高校や川口市立高校に合格するかしないかというレベルですので、これら公立高校の併願校として検討してみてもよいかもしれません。単願にすれば、基準はさらに下がり、越谷南高校や春日部女子高校、春日部東高校との比較検討対象になります。あくまでも私見ですが、大学受験を考えた場合、公立高校であれば予備校通いがほぼ必須… 特待生であれば「学校の期待の星」として、予備校に通わずとも手厚いケアを受けることができます。プレッシャーとモチベーション維持という苦労はありますが、どちらがよいかは歴然としているのではないのでしょうか。

3 私立高校の主な入試変更点

昨年度私立高校入試に至るまでの変更点は以下のとおりです。ここ数年見られた男女共学化・新校舎建設・中学校新設などのブームも落ち着きを見せ始めていますが、一方では、不景気や公立高校授業料無償化の影響で募集に苦慮する私学が増えています。そのような中、各私立高校はそれぞれの特色を出すために、コース改変や完全中高一貫化(=高校募集停止)、あるいは高校募集再開等の施策を打ち出しています。

2022年度(令和4年度)入試における私立変更点については、以下のとおりです。

(1) 2022年度入試

学校名	変更内容
十文字	■ コース改編 ⇨ 特選・リベラルアーツ・自己発信に改編
星美学園	■ 男女共学化 ⇨ 校名を「サレジアン国際学園」に変更
豊島岡女子学園	■ 高校募集停止
中村	■ コース改編 ⇨ 先進・探究・国際に改編
武蔵野大附千代田	■ 中学校新設 ⇨ 千代田国際中学校(仮称)
千葉商科大学付属	■ 新校舎完成

(2) 2021年度入試

学校名	変更内容
浦和学院	■ コース改編 ⇨ アスリート選抜新設
大宮開成	■ コース改編 ⇨ 特進選抜Sコース募集停止
神田女学園	■ コース改編 ⇨ 国際教養・高度教養・総合教養に改編
桜丘	■ コース改編 ⇨ 難関選抜・文理特進・グローバル探究に改編し、キャリア探究を新設
村田女子	■ 男女共学化 ■ 校名変更 = 広尾学園小石川
聖徳大学附属	■ 男女共学化 ■ 校名変更 = 光英VERITAS ■ 音楽科募集停止

(3) 2020年度入試までの大きな動き

学校名	変更内容
浦和ルーテル	■ 大学附属化 ⇨ 青山学院大学の系属校へ
浦和麗明	■ 男女共学化 ■ 調理パティシエ・進学・保育進学募集停止
叡明	■ 校名変更 ■ 校地移転 ■ コース改編 ⇨ 情報科募集停止
栄北	■ 自動車科募集停止
栄東	■ アドバンスコース募集停止
淑徳与野	■ 校地移転 = さいたま新都心駅近くの淑徳与野中学校隣接地へ
細田学園	■ 食物科募集停止 ■ 中学校新設
岩倉	■ コース改編 ⇨ 機械科・商業科募集停止 ■ 男女共学化
麴町学園女子	■ 高校募集再開 ⇨ 東洋大学への進学を前提とした「東洋大学グローバルコース」
千代田女学園	■ 校名変更 ⇨ 「武蔵野大学附属千代田高等学院」(共学クラス新設)
東洋女子	■ 制度新設 ⇨ 無償化プラン1000(世帯年収1,000万円までの家庭に授業料補助)
東洋大京北	■ 校名変更 ■ 校地移転 = 北区赤羽から文京区白山へ ■ 男女共学化
中村	■ 高校募集再開(普通科) ⇨ 国際科はすでに募集再開
和洋国府台女子	■ コース改編 ⇨ ファッションテクニクス科募集停止

主要私立高校併願入試日程[男子]

※偏差値は令和3年度入試の北辰偏差値合格者平均をもとに作成してあります。

SS	公立高校	1月22日以前	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日以降
70	浦和 大宮	17 市川				25 栄東(特待)
69					川越東(特待)	
68	市立浦和		栄東	栄東		
67						
66	春日部	18 芝浦工業大柏				
65	蕨		開智 川越東	開智	開智	25 川越東
64	越谷北			大宮開成	大宮開成	
63	浦和西 不動岡	17 専修大松戸 17 麗澤				
62			獨協埼玉 淑徳 城北埼玉 順天	獨協埼玉 城北埼玉	淑徳	25 順天
61	越ヶ谷					
60	川口市立 川口北					
59	浦和南					
58			春日部共栄 駒込		春日部共栄	
57	越谷南 与野 春日部東	17 光英VERUTAS		駒込 桜丘 昌平		
56		17 二松学舎大柏	昌平 開智未来	武南 開智未来		25 武南 開智未来
55		17 流通経済大柏				
54	草加		淑徳巣鴨 サレジアン国際 浦和麗明	京華 浦和麗明 栄北		
53	南稜 杉戸 川口	18 日本体育大柏 17 東海大浦安	栄北 足立学園 武蔵野千代田 埼玉栄 帝京 成立学園	埼玉栄		25 埼玉栄
52	越谷西					
51			叡明 東京成徳大	叡明	叡明	
50	草加南 久喜北陽 草加東	17 西武台千葉				
49						
48	岩槻 鳩ヶ谷 浦和東		浦和実業	浦和実業	浦和実業	
47	越谷東	17 東京学館浦安				
46			共栄学園 上野学園 浦和学院 駿台学園	浦和学院	浦和学院	
45	鷺宮 草加西 三郷北 川口東 庄和		花咲徳栄 修徳 岩倉 関東第一	花咲徳栄		29 花咲徳栄
44		18 中央学院				
43	川口青陵		国際学院 武蔵野	国際学院 京華商業 秀明英光		
42	松伏	17 我孫子二階堂			秀明英光	
41	八潮南					
40	宮代 吉川美南 栗橋北彩 八潮 幸手桜 三郷 岩槻北陵					

- ① 私立併願校は、以下のように選ぶのが理想的です。
 →公立志望校と同程度の私立高校1校+公立志望校よりもやや学力の高い私立高校1校
 ② 表は偏差値をもとに作成しましたが、内申次第でより上位校を受験できる可能性もあります。

主要私立高校併願入試日程[女子]

※偏差値は令和3年度入試の北辰偏差値合格者平均をもとに作成してあります。

SS	公立高校	1月22日以前	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日以降
70	大宮	17 市川				25 栄東(特待)
69	浦和一女		栄東	栄東		
68	市立浦和			淑徳与野		
67						
66		17 専修大松戸				
65	蕨		開智 淑徳	開智	開智 淑徳	
64	越谷北 不動岡 浦和西		獨協埼玉	大宮開成 獨協埼玉	大宮開成	
63		17 麗澤				
62		17 国府台女子				25 順天
61	越ヶ谷 川口北		順天			
60	川口市立					
59	浦和南	17 流通経済大柏	日大豊山女子	江戸川女子		
58	春日部女子		春日部共栄		春日部共栄	25 開智未来
57	越谷南		開智未来	開智未来		25 武南
56	春日部東 与野		駒込 昌平	武南 駒込 桜丘 昌平		
55		17 和洋国府台				
54	草加 南稜	17 二松学舎大柏	栄北 淑徳巣鴨 東京家政大 浦和麗明 帝京 十文字	栄北 東京家政大 浦和麗明		25 十文字 25 埼玉栄
53	川口 杉戸	17 東海大浦安 17 西武台千葉 17 光英VERUTAS	埼玉栄 サレシアン 東京成徳大 武蔵野千代田 叡明	埼玉栄		
52				叡明	叡明	
51	越谷西 久喜		成立学園			
50	草加南	18 日本体育大柏	東洋女子			
49	草加東		神田女学園			
48	久喜北陽 岩槻 鳩ヶ谷 浦和東		京華女子	文京学院大 浦和実業	浦和実業	
47		17 東京学館浦安	文京学院大 浦和実業 上野学園 共栄学園 駿台学園 浦和学院 修徳	浦和学院	浦和学院	
46	越谷東					
45	鷺宮		花咲徳栄	花咲徳栄		29 花咲徳栄
44	三郷北 川口東 庄和 松伏	18 中央学院	潤徳女子 岩倉 北豊島 関東一 国際学院 武蔵野 瀧野川女子	国際学院 京華商業 瀧野川女子		
43	川口青陵		淑徳SC	愛国		
42	八潮南	17 我孫子二階堂	安部学院	秀明英光	秀明英光	
41	宮代					
40	吉川美南 栗橋北彩 八潮 三郷 幸手桜 岩槻北陵					

① 私立併願校は、以下のように選ぶのが理想的です。
 →公立志望校と同程度の私立高校1校＋公立志望校よりもやや学力の高い私立高校1校

② 表は偏差値をもとに作成しましたが、内申次第でより上位校を受験できる可能性もあります。

【資料E】主要大学の合格者数が10年間で伸びた学校(埼玉東部地区の通学エリア限定)

※大学通信調べ

	学校名		増加数	主要計	東大	難関国立	早大	慶應	青山	立教	中央	明治	法政
01	公	市立浦和	317	682	4	13	74	25	36	148	91	158	133
02	私	大宮開成	311	558	1	1	52	28	37	115	132	77	115
03	私	広尾学園	279	356	3	26	35	33	32	61	72	68	46
03	私	本郷	279	620	9	25	116	79	21	35	103	159	73
05	公	浦和	197	819	46	43	169	104	18	47	112	207	73
06	私	國學院	194	379	0	1	36	8	29	84	43	108	70
07	私	浦和明の星女子	175	314	3	7	57	26	11	57	40	68	45
08	私	山脇学園	160	251	0	2	20	1	32	76	28	65	52
09	公	蕨	158	361	0	3	37	7	15	56	53	90	100
10	公	浦和西	145	278	0	0	19	6	10	68	34	68	73
11	私	昌平	130	166	2	1	26	5	9	34	48	24	17
12	私	駒込	127	160	0	0	10	6	8	32	25	32	47
13	私	渋谷教育幕張	120	637	67	32	207	144	10	25	34	88	30
14	公	越谷北	115	305	0	4	23	4	20	74	40	74	66
15	私	淑徳巣鴨	107	188	0	0	6	4	19	42	63	32	22
16	私	淑徳	104	254	3	1	27	10	17	39	55	56	46
17	私	成立学園	97	154	0	0	13	2	5	53	38	21	22
18	私	川越東	91	529	1	5	39	22	22	93	107	123	117
19	私	安田学園	87	160	0	5	12	13	10	19	35	42	24
20	私	細田学園	83	83	0	0	16	2	4	13	12	17	19
20	私	かえつ有明	83	96	0	2	5	17	8	17	10	19	18
21	公	越ヶ谷	75	149	0	0	7	3	12	29	17	30	51
22	私	開智日本橋	73	77	1	1	15	7	5	9	14	11	14
23	私	京華	62	131	0	3	6	8	1	24	43	20	26
23	私	東洋	62	114	0	0	9	2	2	19	19	21	42
23	私	目白研心	62	66	0	0	6	0	6	13	17	11	13
26	公	伊奈学園総合	56	155	1	2	22	12	11	29	30	24	24
26	私	学習院	56	129	3	1	24	26	12	18	26	11	8
28	私	栄東	54	620	12	9	111	90	27	68	112	111	80
29	公	川口北	53	151	0	0	7	3	7	20	28	28	58
30	私	麻布	52	581	86	38	156	145	10	17	26	91	12
31	私	栄北	51	109	0	0	7	3	2	17	44	10	26
32	私	三田国際学園	50	53	0	0	0	0	7	8	22	8	8
33	私	聖学院	45	89	0	1	13	2	3	11	13	17	29
34	私	拓殖大第一	44	227	0	0	28	3	16	41	54	38	47
35	公	和光国際	41	124	0	1	4	2	10	33	21	20	33
35	公	お茶の水女子大	41	202	9	8	33	29	11	22	39	31	20

※難関国立＝京都大・東工大・一橋大の合計値です。

私立高校授業料減免制度

1 就学支援金

2010年4月から正式に「公立高校授業料無償化」がスタートし、公立高校においては、授業料を徴収しないことになりました。私立高校に通う場合でも、「就学支援金」として、公立高校の場合と同額の国費補助を受けることができます。こうした国の動きを受け、私立高校の授業料負担も、世帯収入に応じて軽減あるいは実質無償化する自治体も出てきました。ただ、この私立高校授業料減免制度は、それぞれの都や県によって対象や助成額が異なりますので注意が必要です。

なお、ご存知のとおり、当該制度は2014年4月から変更され、いわゆる「所得制限」が設けられました。

そして、令和2年4月の制度改正で、「私立高校授業料実質無償化」がスタート、私立高校に通う生徒への国の支援が手厚くなることが発表されています。(在校生も対象です)

【就学支援金新制度概要】

	公立進学者	私立進学者
年収270万円未満	¥118,800支給	¥297,000支給
年収350万円未満	¥118,800支給	¥237,600支給
年収590万円未満	¥118,800支給	¥178,200支給
年収910万円未満	¥118,800支給	¥118,800支給
年収910万円以上	支給対象外	支給対象外



	公立進学者	私立進学者
年収590万円未満	¥118,800支給	¥396,000支給
年収910万円未満	¥118,800支給	¥118,800支給
年収910万円以上	支給対象外	支給対象外

ちなみに、この「就学支援金」は、学校設置者(都道府県や学校法人)が受け取り、該当者の授業料に充ててられています。生徒本人や保護者が直接受け取るものではありません。支給額も授業料を上限としています。

2 埼玉県私立高等学校等父母負担軽減事業補助制度

埼玉県では、埼玉県内の私立高校に通学する生徒の経済的負担を軽減するため、県の単独補助として、授業料軽減補助および入学金軽減補助を実施しています。

《対象》 県内の私立高校生(生徒・保護者とも県内居住)

《条件》 世帯年収が609万円未満の家庭

なお、埼玉県の補助制度についても、平成29年度から補助内容が拡大され、授業料が実質無償となる区分が変わっていましたが、令和2年4月の制度改正を受け、埼玉県でも外洋の変更が発表されています。

【埼玉県の補助制度概要】

	授業料	入学金	施設費
年収250万円未満	¥78,000	¥100,000	¥200,000
年収350万円未満	¥137,400	¥100,000	¥200,000
年収500万円未満	¥196,800	¥100,000	¥200,000
年収590万円未満	¥196,800	¥100,000	対象外
年収609万円未満	¥256,200	¥100,000	対象外
年収609万円以上	対象外	対象外	対象外



	授業料	入学金	施設費
年収250万円未満	※就学支援金+県の補助=全額支給		
年収500万円未満	¥0	¥100,000	¥200,000
年収590万円未満	¥0	¥100,000	対象外
年収609万円未満	¥259,200	¥100,000	対象外
年収720万円未満	¥259,200	対象外	対象外
年収720万円以上	対象外	対象外	対象外

これにより、公私間の学費格差はさらに改善されました。あくまでも目安ですが、世帯年収と支援金・補助金の関係は以下ようになります。(埼玉県の負担軽減補助の支給方法は、「還付」あるいは「相殺」という形式をとります)

【年収500万円未満】 初年度合計696,000円軽減

【年収590万円未満】 初年度合計496,000円軽減

【年収609万円未満】 初年度合計478,000円軽減

【年収720万円未満】 初年度合計378,000円軽減

なお、埼玉県の生徒が、千葉県私立高校に進学することになった場合は、千葉県の授業料減免制度を申請することができます。

【千葉県の補助制度概要】

	私立進学者への授業料補助
年収350万円未満	授業料-就学支援金=補助額
年収640万円未満	授業料2/3-就学支援金=補助額
年収640万円以上	就学支援金のみで県の補助はなし

3 私立高校独自の授業料減免制度

東京都の授業料減免制度は、対象が都内生に限られるため、埼玉県生が東京都私立高校に進学する場合、減免制度を利用することはできません。が、駒込高校(年収760万円未満=単願対象)や東洋女子高校(年収1,000万円未満)⇒2022年度入試から年収上限撤廃)が、他県在住の生徒のために、学校独自の「授業料」減免制度を打ち出していますので、ご確認ください。